

ゴーヘッドス 速報

Goaheads

第6号 平成25年4月27日

梶原の走塁、緑川のダメ押しもゲームを決めた

貴重な貴重な泉の適時打！

	1	2	3	4	5	6	7	R
W	0	1	0	0	0	0	0	1
G	1	0	0	1	2	0	×	4



4/27(土) 今期のKSCが開幕、清水ヶ丘公園野球場に出向き、ワイルドピッチとの初戦を迎えた。昨夜の天候によるグラウンド状況が気になったが、予報とは反し全く問題なくゲーム開始となった。我がチームは後攻林の先発でプレイボールである。今日の林も打たせて取る投球内容が冴え初回を5球で終えた。その裏の攻撃で先制のチャンスが訪れた。先頭の哲也が三失により出塁、その後二番の智も遊内安で出塁し、その後盗塁を交え無死二・三塁の場面、ここで三番の光希がきっちり左に犠飛を放ち先制点を挙げた。しかし後続二人はゾーンの広さに見逃しとなり初回は1点止まりとなった。チャンスの後には、の言葉とおり、二回にゲームが動いた。この回先頭打者に中前に運ばれ出塁、次打者は二ゴロに打ち取りダブルかと思われたが、残念ながら、走者の入れ替わり、次打者には、今日唯一の四球を与え、一死・二塁とスコアリングポジションにランナーを背負う展開、次打者を三ゴロに斬り、二死・二塁としたが、続く打者に投じた初球を綺麗にレフトに運ばれ、同点となった。しかし、これで崩れる事なく、次打者を空三振に斬り、最少失点の1点とした。次にゲームが動いたのは、4回の我がチームの攻撃、この回先頭の梶原がレフト前に運び出塁、次打者は凡打で一死、ここで、1打席目に安打を放ち気を良くしている深沢が、10球粘りうち3球ボールを無くすも最低限の進塁打で梶原を二塁に進めた。ここで、一打席目に凡プレーをした泉が打席に入る。と泉の4球目に梶原が三盗を試み、これに合わすかのように、泉がライト前に運び、一挙梶原がホームインし、またもやリードする展開とした。翌5回には、一死後、光希が相手守備のラッキーさも加味した2ベースで出塁、4番祐太郎は二球目を打ち上げ二飛、二死かと思った瞬間相手野手が捕球出来ず、ラッキーな出塁、次打者は倒れたが、その間に祐太郎が二盗を決め、二死・三塁とダメ押しの場面、ここで、二打席凡退している緑川が打席に入る。彼はMrO塁ゴロですが、奥さんが観戦したゲームではきっちり仕事をするので、ここは彼のバットに期待が掛かる。1ストライクからの二球目、綺麗に体を回し、インコースのボールをレフト前に運び、二走者を迎え入れ、今日の勝利をぐっと引き寄せた。結局林は5回でマウンドを降りたが、1失点1四死球被安打3は素晴らしい内容、また、後続を任された達脇も無四球できっちり二回をゼロ封とし、今期初のセーブを記録した。そんなゲームの中での一言。

1. アウトカウントはメンバーで共有しよう。 2. アウトは確実に積み重ねよう。 3. 凡打でも必ず1塁まで走ろう。何が起きるか分からないのが野球だけに、これらの基本が勝利への道である。派手なプレーではなく、勝つプレーを！！とにかく、今日はナイスゲームでした。次節はいよいよVictoria開幕です。この勢いで奪取勝利！